



広報

3月
2008 March No.36

なかどまり



安心

12

最後の卒業式
シリーズ

3月3日(月)、金木高校小泊分校の、平成19年度(第51回)卒業証書授与式が、小泊小学校体育館で挙行されました。

父兄や関係者など、約50人が出席した卒業式では、6人の卒業生ひとり一人が、学校長から卒業証書を受け取りました。

卒業生を代表して、最後の生徒会長を務めた高田愛里さんが、「この学校で、みんなと一緒にたくさんのことを学ぶことができて良かった。支えてくれた先生や同級生に感謝しています。」と、卒業生のことばを述べました。

6人の卒業生は、閉校を惜しみながら、学びやに別れを告げました。

地域に親しまれてきた金木高校小泊分校は、1954年に夜間定時制の4年制高校として設立し、これまで414名の卒業生を輩出してきましたが、今年度をもって閉校となります。